



教育は
未来へつなぐ
希望の輪

平成28年5月19日(木)
愛知県教育委員会高等学校教育課
進路指導グループ
担当 栗木・堀田・大谷・前田・鈴木
内線 3902・3906
ダイヤル 052-954-6786

平成29年度以降の愛知県公立高等学校入学者選抜(全日制課程)における
学力検査の問題例について

愛知県公立高等学校入学者選抜(全日制課程)は、一般選抜で2校まで受検できる複合選抜制度の特色を維持しつつ、推薦選抜を一般選抜の日程に取り込むことや、高等学校の選択の幅が拡大するよう群・グループ分けを見直すことなどにより、平成29年度から新しい制度に移行します。

新しい制度への移行に合わせて、学力検査についても、中学校学習指導要領の基本的な考え方にに基づき、これまで以上に思考力、判断力、表現力等を測る出題となるよう配慮することとしています。

このたび、新しい入学者選抜における学力検査の問題例を別紙のとおり作成しましたので、お知らせします。

問題例について

次ページ以降に示す問題例は、これまで以上に思考力、判断力、表現力等を測る出題とするための一例として作成したものです。（実際に出題する問題とは形式や内容が異なることがあります。）

また、各教科の全ての問題を例のように変えるわけではなく、例に示すような問題を加えて出題することになります。なお、例は、実際に出題する問題の難易度を示すものではないことにも留意してください。

【参考1】 出題教科、検査時間、配点について

出題教科（変更なし）

国語，社会，数学，理科，外国語（英語）の5教科

外国語（英語）では，聞き取り検査を実施

検査時間（変更あり：各教科5分増）

各教科45分

ただし，外国語（英語）は，聞き取り検査が10分程度，筆記検査が40分

（従来は，各教科40分，外国語（英語）の筆記検査35分）

配点（変更あり：各教科2点増）

各教科22点満点で，5教科の合計得点の最高は110点

（従来は，各教科20点満点，合計得点の最高は100点）

【参考2】 平成29年度公立高等学校入学者選抜（全日制課程）実施日程について

平成29年2月20日（月）～22日（水） 入学願書受付

平成29年2月23日（木），24日（金） 志願変更

平成29年3月6日（月） Bグループ学力検査

平成29年3月7日（火） Bグループ面接・特別検査等

平成29年3月9日（木） Aグループ学力検査

平成29年3月10日（金） Aグループ面接・特別検査等

平成29年3月17日（金） 合格者発表

これまでの問題に比べ、より思考力、判断力、表現力等をみることをねらいとして、文を推敲^{すいこう}するために必要な要素を把握する問題などを出題する予定です。また、文章を要約する問題や、文章の構成・論理の展開を把握する問題も引き続き出題します。

例では、文章中のことばについて述べた文の不適切な部分を把握させることにより、読む能力及び書く能力をみます。

例 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

著作権の関係で文章の掲載は省略し、問いにかかわる第五段落の要旨のみを掲載します。

第五段落の要旨

創造活動が活発に行われているとき、意識的な活動に疲れた頃に退行現象（＝人のところが子どもの頃にかえるような状態になること）が生じ、普通では思いつけなかったようなあらたな発見のきざしが生じる。このような現象を称して創造的退行という。

（文章は、平成二十七年学力検査 全日制課程B「国語」

大問一 河合隼雄『大人になることのむずかしさ』より。）

（問い） 次の文は、ある生徒が第五段落に書かれている「創造的退行」

についてまとめたものであるが、内容や表現に不適切な部分がある。それらを最も的確に指摘しているものを、A群及びB群からそれぞれ選んで、そのかな符号を書きなさい。（2点）

創造的退行は、人が創造活動を活発に行っているときに、意識して子どもの頃にかえるようなこの状態になり、普通では思いつけないようなあらたな発見のきざしが生じる。

A群

ア 創造性の高い人々は、子どもの頃にかえるようなこの状態にならなくても活発に創造活動を行っている。

イ 普通では思いつけないようなあらたな発見のきざしは、こころが子どもから大人に成長するときに生じるものである。

ウ 創造活動の中で人のこころが子どもの頃にかえるような状態になるのは、自ら意識してなされることではない。

エ 人が創造活動にこころを集中させているときには、普通では思いつけないようなあらたな発見をすることは難しい。

B群

ア 指示語の指示している内容が明確でない。

イ 主語と述語がうまく対応していない。

ウ 修飾語と修飾される語がうまく対応していない。

エ 副詞をそれにふさわしい語で受けていない。

〔正答例〕

A群 ウ B群 イ

〔採点基準〕

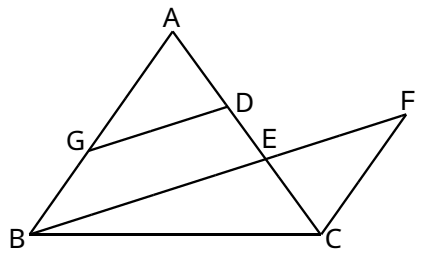
二つともできて2点。

数 学

これまでの問題に比べ、より思考力、判断力、表現力等を見ることをねらいとして、証明や証明の一部を記述する問題などを出題する予定です。

例の証明問題では、証明中の正しくない記述を見つけさせ、さらに、その部分を正しい記述に改めさせることにより、論理的に思考・判断し、数学的な表現を用いて根拠を示す力をみます。

例 図のように、 ABC において、辺 AC 上に $AD = CE$ 、 $AD < DC$ となるように2点 D, E をとる。直線 BE と点 C を通り、辺 AB に平行な直線との交点を F とする。また、点 D を通り、線分 BE に平行な直線と辺 AB との交点を G とする。



このとき、 $AGD \cong CFE$ となることを次のように証明した。しかし、書かれている証明は、このままで正しくない。下の証明の下線部のうち、いずれか1つを書き直すことで、証明を正しくすることができる。この証明を正しくするために、下線部アからオまでのうち、どれを書き直せばよいか。書き直すものを1つ選んで、そのかな符号を書きなさい。また、証明が正しくなるように、その下線部を書き直しなさい。(2点)

(証明) AGD と CFE において、
 仮定より、ア $AD = CE$
 $AB \parallel FC$ なので、錯角は等しいから、イ $\angle DAG = \angle ECF$
 $GD \parallel BF$ なので、同位角は等しいから、ウ $\angle AGD = \angle GBE$
 対頂角は等しいので、エ $\angle DEB = \angle CEF$
 , により、オ $\angle ADG = \angle CEF$
 , , により,
 1組の辺とその両端の角がそれぞれ等しいので、 $AGD \cong CFE$

〔正答例〕

書き直すものは(ウ), その下線部を書き直すと($\angle ADG = \angle DEB$)。

〔採点基準〕

2つともできて2点。

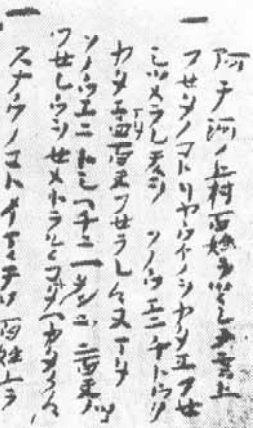
これまでの問題に比べ、より思考力、判断力、表現力等を見ることをねらいとして、資料から必要な事柄を読み取った上で、基礎的・基本的な知識を活用して思考・判断したり、表現したりする問題などを出題する予定です。

例では、示された資料から読み取ることができる事柄や、その時代の農民の生活について正しく述べたものを、歴史に関する基礎的・基本的な知識を活用しながら全て選ばせることにより、思考力・判断力等を見ます。

例 次の【資料】は、現在の和歌山県にあった、ある荘園におけるできごとについて書かれたものである。

【資料】の現代語訳（要約）を参考にして、【資料】から読み取れることや、その時代の農民の生活について述べた文として正しいものを、下のアからオまでの中から全て選んで、そのかな符号を書きなさい。（2点）

【資料】



【資料】の現代語訳（要約）

材木のことで、地頭が京都に行くときのお供や、荘園の近くで作業のために人手が必要だといって地頭に働かされていますので、納める時間がありません。荘園に残ったわずかの者を、材木の運び出しに向かわせましたが、逃げてしまった農民の田んぼに麦をまけといわれ、地頭に追い返されてしまいました。おまえたちが麦をまかなければ、妻や子どもを家に閉じ込めて耳を切り、髪の毛を切って尼にするぞ、縄でしばって痛めつけるぞと脅しますので、材木の納入がいよいよ遅くなってしまったのです。

- ア この時代には、農民は与えられた口分田の面積に応じた租を納めていた。
- イ この時代には、米と麦による二毛作が近畿地方などに広まっていた。
- ウ この荘園では、農民が荘園領主に材木を納めることになっていた。
- エ この資料は、荘園領主のひどい行いを地頭に訴えるために書かれたものである。
- オ この資料は、農民の訴えがおもにカタカナを用いて書かれたものである。

〔正答例〕

イ、ウ、オ

〔採点基準〕

全てできて2点。

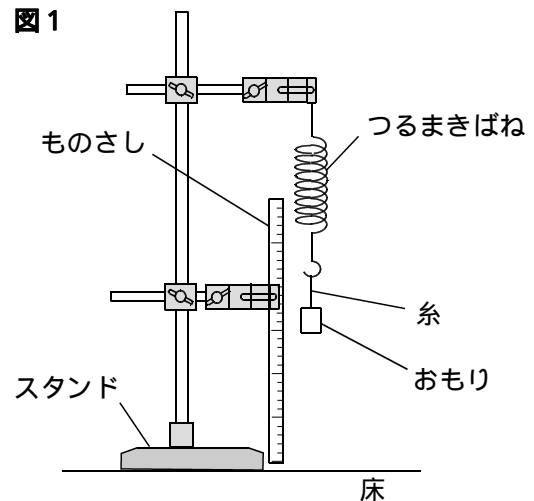
これまでの問題と同様に、観察・実験を重視するとともに、より思考力、判断力、表現力等を見ることをねらいとします。物理、化学、生物、地学のそれぞれの領域の特徴を生かし、観察・実験などを通して身に付けた基礎的な知識や概念を問う問題、また、それらを用いて多面的に考察したり、課題解決に向けて実験の計画を立てたり、実験の結果を分析して解釈したりする問題などを出題する予定です。

例の(1)では、〔実験1〕と〔実験2〕の結果から必要な情報を正しく読み取り、力に関する基礎的な知識を活用する力をみます。(2)では、実験の条件を変えた場合について、実験の結果を予測し、グラフを用いて表現する力をみます。

例 物体にはたらく圧力と浮力について調べるために、次の〔実験1〕と〔実験2〕を行った。
ただし、〔実験1〕と〔実験2〕は、同じつるまきばねを使用しており、つるまきばね及び糸の質量は無視できるほど小さいものとする。

〔実験1〕 図1のように、スタンドにつるまきばねのものさしを固定し、つるまきばねに糸のついたおもりをつり下げて静止させ、おもりの重さとつるまきばねののびとの関係を調べた。

表は、〔実験1〕の結果について、まとめたものである。



表

おもりの重さ〔N〕	0	0.2	0.4	0.6	0.8	1.0	1.2
つるまきばねののび〔cm〕	0	2.0	4.0	6.0	8.0	10.0	12.0

〔実験2〕 図2のように、長さが6.0cmで重さが1.0Nの直方体の物体Pを底面が水面と平行になるようにしてつるまきばねにつるし、水の入った大きな水槽の底に静止させた。

つるまきばねがのびていない状態から、物体Pの底面が水面に達するまでつるまきばねを真上にゆっくり引いた。このとき、つるまきばねを引いた距離とつるまきばねののびとの関係を調べた。

物体Pと形と大きさが同じで、密度が物体Pの0.8倍の物体Qを用いて、と 同じことを行った。

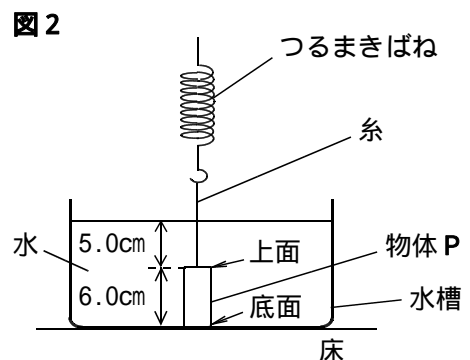
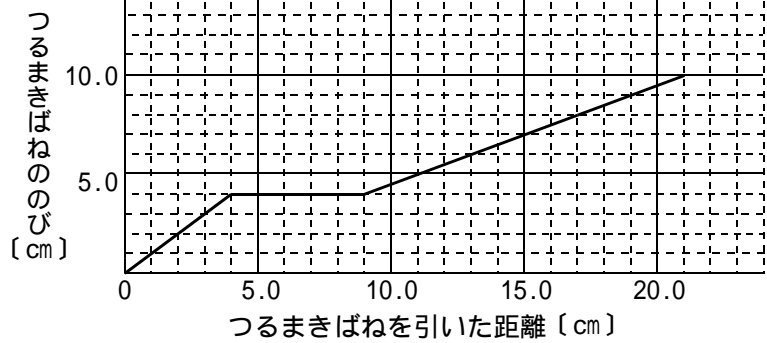


図3は、〔実験2〕の結果について、横軸につるまきばねを引いた距離〔cm〕を、縦軸につるまきばねののび〔cm〕をとり、その関係をグラフに表したものである。

なお、〔実験2〕で用いる水槽は、物体P、Qに比べて十分に大きく、物体P、Qが水中から空気中に引き上げられたとき、水槽の水面の高さは変化しないものとする。

図3



次の(1)と(2)の問いに答えなさい。

(1) 〔実験2〕の で、物体Pにはたらいっている浮力の大きさは何Nか。最も適当なものを、次のアからカまでの中から選んで、そのかな符号を書きなさい。(1点)

ア 0.1N イ 0.3N ウ 0.4N エ 0.5N オ 0.6N カ 1N

(2) 〔実験2〕の で、物体Qを、つるまきばねがのびていない状態から、物体Qの底面が水面に達するまでつるまきばねを真上にゆっくり引いたとき、つるまきばねを引いた距離とつるまきばねののびとの関係はどの

ようになるか。横軸につるまきばねを引いた距離〔cm〕を、縦軸につるまきばねののび〔cm〕をとり、その関係を表すグラフを解答欄の図4に書きなさい。(2点)

図4



〔正答例〕

(1) オ (2) 図4



〔採点基準〕

(2) 正しく書けていて2点。

英 語 (聞き取り)

これまでの問題に比べ、より話し手の意向を理解したり、自分の考えなどを話したりする力をみることをねらいとして、概要や要点を適切に理解したり、会話の流れを予測したりする問題などを出題する予定です。

例は、ケイトと太郎の会話を聞き、次にケイトが何を言うかを予測して解答する問題です。会話のやりとりから、次にどのようなことばが発せられるかを予測するなど、英語によるコミュニケーション能力をみます。相手の言うことを的確に理解し、受け答えする力が必要です。

例 二人の会話と問い及び問いに対する答え（選択肢）が全て音声で流れます。問いに対する答えとして最も適当なものを一つ選びなさい。（1点）

Kate: Hi, Taro. Oh, you are so wet! Don't you have your umbrella with you?

Taro: Oh, hi, Kate. No, I don't. Suddenly it started raining just a few minutes ago.

Question: What is Kate going to say next?

- a That's too bad. It was rainy yesterday.
- b That's too bad. You should change your clothes at once.
- c Oh, so your brother will give you an umbrella.
- d Oh, so you must give your umbrella to your brother.

〔正答例〕

b

これまでの問題に比べ、より思考力、判断力、表現力等を見ることをねらいとして、基本的な語彙や文法、文構造の知識を活用したり、資料（文章、グラフ、図、表など）から読み取った情報を整理して適切に表現したりする問題などを出題する予定です。

例では、スマートフォンに関するある意見を読み、その意見について自分の考えを英語で表現する力をみます。賛成するか反対するか自体は問いません。考えをわかりやすくまとめ、英語で表現する力が必要です。

例 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

スマートフォンは若者にとって有害である。もちろん、メールを送ったり、情報を得たり、ゲームをしたり、いろいろな機能があってとても便利で役に立つモノである。しかし、スマートフォンを使い過ぎて夜更かしをするなど、健康面で悪影響もある。若者に対しては、スマートフォンの販売を禁止するべきだ。

〔問い〕 この文章の筆者の主張に対し、賛成又は反対の立場で、自分の考えを英語 2 文以上で書きなさい。ただし、最初の英文は I think で書き始めること。なお、下の語句を参考にしてもよい。(2 点)

communication コミュニケーション convenient 便利な
e-mail eメール health 健康 information 情報
smartphone スマートフォン until late at night 夜遅くまで
useful 役に立つ

〔正答例〕

賛成の立場の例

I think young people should not use smartphones. Some young people use smartphones until late at night. Smartphones are bad for health.

反対の立場の例

I think young people should have freedom to use smartphones. Smartphones are very convenient for communication. They are also useful to get information.

〔採点基準〕

賛成又は反対の立場が、その理由とともに明確に示されていて 2 点。